

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：教育・社会・国家 ILAS Seminar :Education, Society and Nation-State			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 倉石 一郎		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	15(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	人間・環境学研究科棟533			使用言語	日本語
キーワード	インクルーシブ教育 / 障害児教育 / 特別支援教育 / 分ける教育と分けない教育 / 障害者解放運動 / 自閉症スペクトラム						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
<p>教育の世界において現在、最も注目を浴びているテーマの1つであるインクルーシブ教育を主題として、内外の最新の事情、日本におけるインクルージョンを目指しての闘争と反動の歴史、分ける教育と分けない教育という視点が他分野の教育を考える上でも持つ重要性などを学ぶ。また障害の社会モデルと個人モデルなど、障害学のいくつかの重要概念についても学ぶ。このことを通して、障害児者の包摂・インクルージョンを社会の一員として推進していく上での基盤となるものの見方を深め、問題の構造を理解し、解決に向けて立ち向かう態度を習得することを目的とする。</p>							
[到達目標]							
<p>インクルーシブ教育を考える上で不可欠な教育制度論的知識、歴史的知識、障害を捉える上での基本となる諸概念などの習得を目指す。</p>							
[授業計画と内容]							
<p>1．オリエンテーション 2．～14．個人発表またはグループ発表：インクルーシブ教育に関する内外の重要な文献を割り当て、その内容を報告し批判的見解を提示する。 <取り上げる文献の一例> ・横塚晃一『母よ、殺すな』生活書院 ・横田弘ほか『われらは愛と正義を否定する』生活書院 ・星加良司『障害とはなにか：ディスアビリティの社会理論に向けて』生活書院 ・小島靖子ほか『八王子養護学校の思想と実践：どの子も一緒に教育を』 ・安積純子ほか『生の技法 [第3版] 家と施設を出て暮らす障害者の社会学』 ・立岩真也『自閉症連続体の時代』みすず書房 ・ピティ『哀れみはいらない：全米障害者運動の軌跡』現代書館 など 15．フィードバック</p>							
[履修要件]							
特になし							
ILASセミナー：教育・社会・国家(2)へ続く							

ILASセミナー：教育・社会・国家(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点評価による。
インクルーシブ教育の歴史・社会的文脈での把握・理解が達成されたかどうかを観点に、セミナーにおける発表時のレジユメの完成度、説明の適切性などを評価する（70％）。さらにそこに日常の討論・共同作業への参加状態、貢献などを加味する（30％）。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

グループ発表においては、他のメンバーと密に連絡を取り、協調して発表準備を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]